

アメリカの至宝

名門ジュリアード音楽院教授による
スーパー・クアルテット
1946年の結成以来今日に至るまで
受け継がれる「声」と「魂」

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第13番

Beethoven: String Quartet No. 13 in B flat major, Op. 130 with published finale

ヴィトマン：弦楽四重奏曲 第8番*

Widmann: String Quartet No. 8 (Beethoven-Study III) *

ヴィトマン：弦楽四重奏曲 第10番「カヴァティーナ」*

Widmann: Cavatina - String Quartet No. 10 (Beethoven-Study V) *

ベートーヴェン：大フーガ

Beethoven: Grosse Fugue, Op. 133

★ジュリアード弦楽四重奏団委嘱作品
commissioned for the Juilliard String Quartet



Juilliard String Quartet

Cavatina

ジュリアード弦楽四重奏団
“カヴァティーナ”

2023/10/20 金 19:00 紀尾井ホール

19:00, 20TH OCTOBER, 2023, KIOI HALL

全席指定

S席：¥6,000

A席：¥5,000

S席 U25：¥3,000 1998年以降生まれの方限定。
当日生年が証明できるものを持参のこと。

イープラス

インターネット

<https://eplus.jp/>

店頭

ファミリーマート(マルチコピー機)

チケットぴあ

(Pコード：247-345)

インターネット

<https://t.pia.jp/>

店頭

セブン-イレブン(マルチコピー機)

※ 未就学児の入場はご遠慮ください。
※ 都合により内容等変更になる場合がございますので、
あらかじめご了承ください。

主催：テレビマンユニオン

協賛：東レ株式会社

協力：株式会社ソニー・ミュージックレーベルズ

NYの名門ジュリアード音楽院の教授たちによって1946年に結成されたジュリアード弦楽四重奏団は、常に、世界の音楽界のトップを走り続ける絶対的な存在として75年以上の長きにわたってその地位を確立。古典から現代に至るまで、常に真摯に取り組み、伝統を守りつつ大胆な挑戦をするという姿勢を貫いてきた。第1ヴァイオリンのアレタ・ズラはギリシャ出身、セカンドのロナルド・コープスとヴィオラのモリー・カーはアメリカ出身。チェロのアストリッド・シュウィーンはドイツ人の父を持つという、まさにNYを象徴するようなコスモポリタンなメンバー構成によるクアルテット。

今年10月、(新型コロナウイルスのパンデミックによるツアー延期もあって)実に5年ぶりとなる日本ツアーを予定。プログラムは題して「カヴァティーナ」。ベートーヴェンの作品の中でもとりわけ美しいとされる弦楽四重奏曲第13番の第5楽章「カヴァティーナ」と、ドイツの気鋭ヴィトマンによる新作「カヴァティーナ」(2022年10月アメリカにて世界初演)という対比はジュリアード弦楽四重奏団ならではのラインナップと言える。約200年の時を超えて、伝統(ベートーヴェン)と革新(ヴィトマン)がステージで1つになる瞬間。先立つヨーロッパ・ツアーで同タイトルを演奏し、大成功を収めている。そして今秋、満を持しての、日本初演に乞うご期待!

Juilliard String Quartet Cavatina

ジュリアード弦楽四重奏団

Juilliard String Quartet



アレタ・ズラ(ヴァイオリン) | Areta Zhulla, violin
 ロナルド・コープス(ヴァイオリン) | Ronald Copes, violin
 モリー・カー(ヴィオラ) | Molly Carr, viola
 アストリッド・シュウィーン(チェロ) | Astrid Schween, cello

比類なき芸術性と不朽の活力で、ジュリアード弦楽四重奏団は世界中の観衆を魅了し続けている。1946年に創設、米紙ボストン・グローブで「我が国の弦楽四重奏団史上、最も重要な存在」と評された同団は、古典作品にたゆまぬ探究心を傾けると同時に、新しい作品にも果敢に取り組み、伝統を守りつつ大胆な挑戦をするという姿勢を貫いてきた。彼らが届けるのは常に、唯一無二の音楽。それは4人に共通する、作品に対する深い洞察と全身全霊の傾注、そして弦楽四重奏という芸術に潜む驚嘆を分かち合いたいという飽くなき好奇心の結実である。

2022/23シーズン、ジュリアード弦楽四重奏団は、イタリア、ドイツ、チェコを含むヨーロッパ・ツアーで始まった。ドイツの気鋭の作曲家イェルク・ヴィトマンの2つの弦楽四重奏曲は、ベートーヴェンの後期四重奏曲と並んで演奏されるよう作曲され、初演され、日本ツアーでも初披露される。多数の名盤を誇るその名高いディスコグラフィーに加え、

2021年4月にはソニー・クラシカルからベートーヴェン、バルトーク、ドヴォルザークを収録したアルバムがリリースされ、高い評価を得た。さらに、ソニー・マスターワークスから2021年6月に創立75周年を記念したCD16枚によるセットBOX「The Early Juilliard Recordings」がリリースされた。バルトーク、シェーンベルク、ドビュッシー、ラヴェル、ベートーヴェンの弦楽四重奏曲はグラミー賞を受賞し、2011年、全米レコード芸術科学アカデミーからクラシック音楽のアンサンブルとして初めて生涯功労賞を授与されている。

各メンバーは教師としても優れており、ツアー中もマスタークラスや公開リハーサルを実施している。レジデンスであるジュリアード音楽院では弦楽および室内楽の教授を務めており、受講を希望する者が後を絶たない。毎年5月に開催している5日間に及ぶセミナーは国際的にも注目を集めている。また夏には、タンゲルウッド音楽祭では学生たちとともに弦楽四重奏のための集中講座を行っている。

ジュリアード弦楽四重奏団 on CD *Juilliard String Quartet*

Sony Music Japan International



1970年のベートーヴェン生誕200年記念プロジェクト。ジュリアード、最初のベートーヴェン全集。

ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲全集(第1回)

【録音】1964-1970年 ニューヨーク、コロムビア30番街スタジオ
9CD ● 19075992332(輸入盤) オープンプライス

厳しく磨き抜かれた美音と絶妙極まりないアンサンブル、緊張感に満ちた表現力、確固たる主張を持ち、この時代のジュリアードの豊かな音楽性を象徴しています。20世紀的なベートーヴェン演奏の一つの頂点を極めた、ジュリアードの第1回目の全集です。



ジュリアード2度目のベートーヴェン全集、聴衆を前にした壮絶な気迫を記録したライブ録音。

ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲全集(第2回)

【録音】1982年 ワシントン国会図書館クーリッジ・ホール
9CD ● 19075964442(輸入盤) オープンプライス

1982年ワシントン国会図書館クーリッジ・ホールでのライブを収録した、ジュリアード2度目のベートーヴェン全集。ベートーヴェンへの強い思いが感じられるとともに、豊かなニュアンス引き出しながら引き締まった造形を作り出した、奥行きも深さも備えた素晴らしい演奏です。

人は、人と、響きあう。 時代をこえ、国境をこえて、

しあわせ
幸福のハーモニーをもっと広げたい。

私たち東レは、総合科学技術を基盤として、国際的に
 多角的な事業活動を展開する一方、
 科学、教育、芸術、文化、スポーツ振興を通じて
 世界の国々の人々や社会に貢献しています。

'TORAY'

Innovation by Chemistry

